

よぼうかい大阪がお届けするニュースレター

✦健康！よぼうかい OSAKA

2005/Vol.1

創刊号

Japan Anti-Tuberculosis Association,Osaka

特集 ■ 今、身近な病気 気になる乳がん

■ 3つの事業所を紹介します

ご存知ですか？結核予防会大阪府支部

相談診療所・結核研究所 大阪病院 堺高島屋内診療所

■ 胸部検診車（けいりん号782）が装いも新たに完成

ホームページ <http://www.jata-osaka.or.jp>



「創刊にあたって」

結核予防会大阪府支部は、1940年創設以来、相談診療所、大阪病院、堺診療所を中心に長年にわたり、結核、がんや循環器病、職業病の予防検診から診療に関わって参りました。その間結核は減少し、代ってがんや循環器を含む生活習慣病の罹患率、死亡率が増え続けています。

また少子高齢化、長寿社会が到来し、医療費が増加し、世界にほこるわが国の健康保険制度は存続の危機に瀕していると言われており、これまでは早期発見・治療が説かれてきましたが、今やそれ以上に予防の大切さがあらためて認識され、健康日本21、健康増進法の制定など国を挙げた取組みがなされているところです。

当支部では、「みなさんの健康を守ることで社会に奉仕するよう努めます」との理念のもと、長年にわたり予防啓発活動、健診・診療活動を行って参りましたが、このような社会の状況に対応し、個人や集団の健康の維持・管理をお手伝いしたいとこの広報誌を発刊することになりました。

今後皆様方からの御意見、御助言もお願いし、魅力的で役立つ情報誌に育つよう努力を重ねたいと思っています。



結核予防会大阪府支部
支部長 小倉 剛



健康！よぼうかい OSAKA

2005 / 創刊号 / vol.1



CONTENTS

- 1 MESSAGE ～メッセージ～
「創刊にあたって」
- 2 ご存じですか？結核予防会大阪府支部
相談診療所
大阪病院
堺高島屋内診療所
- 5 〔特集〕今、身近な病気
気になる乳がん
〔コラム〕「お気軽にご相談ください」
- 巻末 よぼうかいTOPICS
けいりん号（782）が装いも新たに完成
複十字シール運動
平成16年度（第48回）結核対策推進優良市町村表彰

ご存じですか？結核予防会大阪府支部

「聞いたことはあるけど、何をしてる所なの？」 「結核の予防だけやってるのかな？」 「具体的にどんな組織なの？」
今回は、そんな素朴な疑問にお答えします！

相談診療所

昭和23年開設以来56年を経て、現在職員数198名を擁し、健診と外来保険診療を主な業務としています。

健診業務は、施設健診と出張健診にわかれ、結核・肺がん検診をはじめ、循環器検診・消化器検診・有害業務検診・各種がん検診・各種住民健診などを、事業所・住民・学校・介護施設の皆様にご提供しており、また、総合した生活習慣病健診、特に人間ドック健診に力点を置き、受診者に満足いただける健診を目指しています。



施設内には各種検診機能を備えた医療機器をはじめ、37台の検診車を所有しています。



診療科は、内科・呼吸器科・循環器科・消化器科・

放射線科を標榜し、一般外来診療のほか、健診での一次検査から二次検査や治療へと、フォロー診療対応も充実しています。

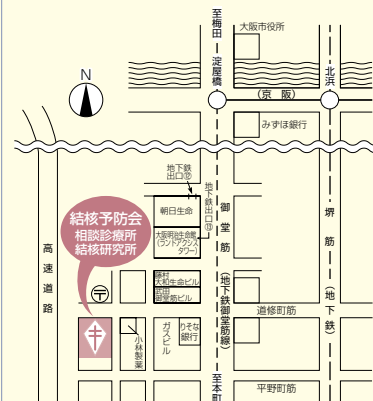
現在取り組んでいますのは、業務システムにおける情報のデジタル化をより促進し、正確性・迅速性の向上を図っています。また、人間ドック健診においては、特に「健康日本21」でも提起される、個人々々の生活習慣指導を提供し、より豊かな健康生活をサポートできる態勢を作り上げていきます。なお、診療では禁煙外来も設けておりますので、お気軽にご相談ください。



INFORMATION

開設	昭和23年7月
事業内容	健診・一般外来(保険診療)
受付時間	午前：8時45分～11時45分 午後：12時45分～3時30分
休診日	土曜・日曜・祝日・創立記念日(3月1日)
お問い合わせ	〒541-0045 大阪市中央区道修町4丁目6番5号 TEL：06-6202-6666(代表) FAX：06-6202-6686 E-mail：info@jata-osaka.or.jp

アクセス 京阪電鉄：「淀屋橋」駅より徒歩約10分
地下鉄御堂筋線：「淀屋橋」駅より徒歩約5分



大阪病院

大阪病院は患者さま中心のチーム医療を行い、健康を守ることで社会に奉仕することを基本理念に、内科（総合内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科）、外科（一般外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門科）、整形外科、リハビリテーション科、小児科の診療を行っています。

内科では「いびき外来（睡眠時無呼吸症候群）」「禁煙外来」「糖尿病外来」「喘息・アレルギー外来」などの専門外来も行っていきます。

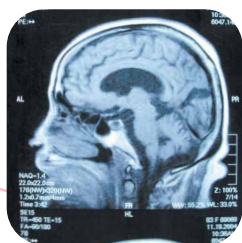
外科では各種の内視鏡下手術（呼吸器、消化器）、整形外科では人工関節置換術なども随時行っています。



その他健診部があり、人間ドック、個人・集団健診、各種健康診断も行っていきます。



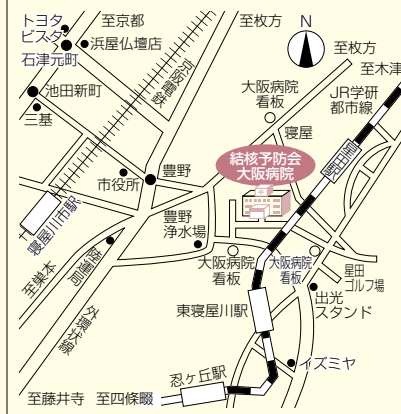
主な診断機器はらせん型CT、磁気共鳴診断装置（MRI）、各種核医学診断装置（RI）、骨塩量測定装置、電子内視鏡（呼吸器、消化器）、胸・腹腔鏡、ホルター心電計、超音波診断装置、睡眠時無呼吸症候群の診断装置、血液自動分析装置を設置し、また細菌培養や遺伝子検査等最新の設備と検査で患者さまの病気の診断や治療に貢献しています。病棟は一般病棟、結核病棟と医療療養・介護療養病棟があり、開放病床を設け地域医療に貢献するとともに医療相談室、地域医療連絡室を設けて病気の予防、医療から社会福祉まで幅広く運営しています。



INFORMATION

開設	昭和51年10月
事業内容	入院・一般外来（保険診療）・健診
受付時間	午前：9時00分～11時30分 午後：1時00分～2時30分
休診日	土曜・日曜・祝日・創立記念日（3月1日）
お問い合わせ	〒572-0801 寝屋川市寝屋2276-1 TEL：072-821-4781（代表） FAX：072-824-2312 URL：http://www.osaka-hospital.jp

アクセス **JR学研都市線**：「星田」駅より徒歩約10分
京阪電鉄：「寝屋川市」駅より、京阪バス四条駅・東寝屋川行き「大阪病院前」下車すぐ



ご存じですか？結核予防会大阪府支部

堺高島屋内診療所

今から約40年前の昭和39年10月に、高島屋堺支店の4階に開設しました。現在は5階へ移り、職員は20名余りです。主に堺市の臨海地区の健康診断を行ってきましたが、今では堺市から南地域の事業所、学校児童、生徒、教職員の健康診断を、幅広く担当しています。また地元との関係も深く、結核検診や住民健診も含めて地域医療の中核を担っています。



さらに南海高野線堺東駅下車すぐという交通の利便性に加え、土曜日、日曜日も診療と健診を行っていることが他にはないメリットです。

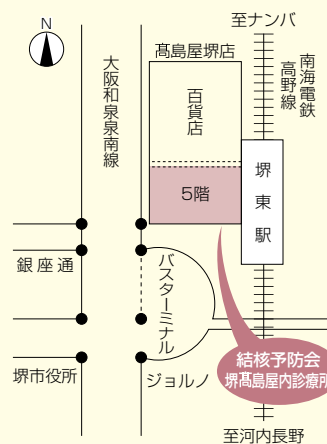
内科診療の他、集団健診として、結核検診・定期健康診断・循環器検診・消化器検診・有害業務健診・各種機能検査・ドック健診・生活習慣病健診・骨粗鬆症検診を行っています。

INFORMATION

開設	昭和39年10月
事業内容	健診・一般外来（保険診療）
受付時間	午前：10時00分～12時00分 午後：1時30分～4時30分
休診日	水曜・祝日・創立記念日（3月1日）
お問い合わせ	〒590-0028 堺市三国丘御幸通63 高島屋堺店内5階 TEL：072-221-5515（代表） FAX：072-223-8534 E-mail：sakai@jata-osaka.or.jp

アクセス

南海電鉄高野線：「堺東」駅よりすぐ



診療機器として、胸部CT装置、超音波診断装置、胃ファイバースコープを設置しており、治療方針や確定診断の決定に威力を発揮しています。

今後は、診療所内のIT化を進め、より一層の充実を図り、精度の高い医療を提供して、地域や受診者の方々へ貢献して参ります。



今、身近な病気

〔特集〕

気になる 乳がん



▲マンモグラフィ検診車

増えている乳がん。
予防の決め手は、やはり早期発見！

現在、日本の女性の乳がんが増加しています。

平成15年の乳がんによる死亡者数は、9806人にのぼります。女性

に発症する悪性腫瘍の中では、胃・子宮がんは減少傾向にあるのに対して、乳がんは、大腸がん・肺がんとともに年々増加傾向にあります。(図1)

進行すると、リンパ節・骨・脳などに転移して治りにくい反面、早期から見つけることもできること、他の悪性腫瘍と異なり、40～50歳の働きざかりの年齢層に1つの発症ピークがあることから、自己チェックや検診を組み合わせた早期発見対策が緊急課題となっています。



視触診のみから併用検診へ

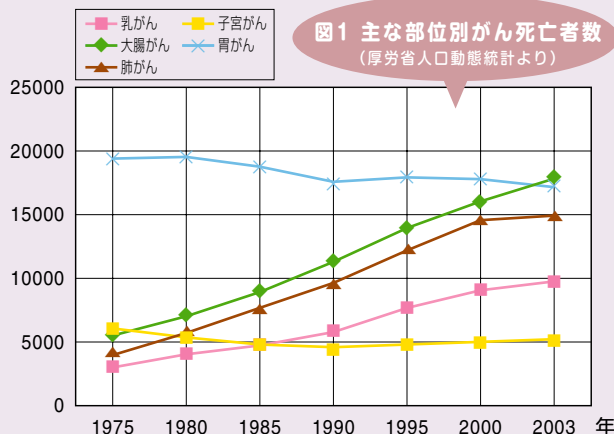
これまでの乳がん検診は視触診により行われてきましたが、十分な効果が得られないため、平成12年から50歳以上の女性を対象に視触診に加えてマンモグラフィが導入されるようになりました。

現在では、40歳以上の女性を対象に2年に1度の視触診とマンモグラフィによる検診へと改められています。

(がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針による)

当支部では、これまで視触診に加えて超音波検査を併用するかたちで乳がん検診を行ってきましたが、平成9年からマンモグラフィも加えた乳がん検診を行っています。

乳がん検診は、単に死亡率を減少させるだけでなく、早期に発見してできるだけ乳房を温存するかたちで治療し、治療後のQOL(生活の質)を向上させる意味においても重要です。



超音波検査とマンモグ

超音波検査

- ①微細な石灰化の検出は難しい。
- ②腫瘍を形成するがんや良性疾患の発見に効果的。
- ③発達した乳腺でも病変の検出ができる。
- ④放射線は使わない。
- ⑤検査に伴う痛みはない。
- ⑥乳腺の発達している若年者や、妊娠中、授乳中、豊胸術を受けた方などにも検査ができる。

予防は、まず検査から

乳がんを見つける検査

乳がんは定期的に検査することで、早期発見、早期治療につながります。検査には、視・触診と、視・触診ではわからない異常を見つけだす画像による検査があります。

■自己チェック

自身が直接目で観察し手で触って調べます。乳房にしこりや、えくぼのようなくぼみが出来ていないか、また、圧迫した乳頭から分泌物が出ないかなどを、鏡の前や仰向けの姿勢で確認します。

■視触診

医師が視診・触診によって異常の有無を調べ診断します。日頃の自己チェックで気になることがあれば医師にご相談下さい。

■超音波検査

人の耳には聞こえない高い音を乳腺にあて、その反射の状態を画像として写し出します。

検査は、乳房にゼリーをつけて、プローブという超音波を出す器具をあてて動かしながら、別の画面に写し出された画像を見て診断します。

■マンモグラフィ

乳房専用のエックス線撮影のことです。

検査は、乳房を片方ずつ圧迫板で挟み、圧迫しながら薄く均等に広げることによって少ない放射線量で撮影します。



▲超音波検診風景



▲マンモグラフィ撮影装置



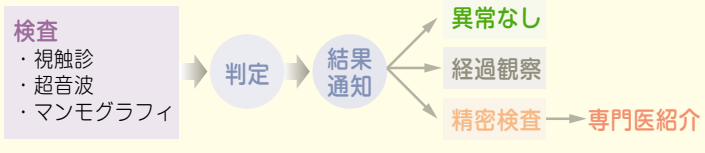
▲マンモグラフィ撮影室

これらの検査の結果「悪性でない」と言いきれない場合は、実際に組織を採って顕微鏡で詳しく調べることがあります。超音波検査とマンモグラフィは、それぞれ表に示した特徴を持っています。

ご安心ください

当支部では、受診者によって検査方法は異なりますが、基本的な検診の流れは図2のようになります。いずれの検査も、施設健診・出張健診をしています。

図2 乳がん検診の流れ



検診に当たって、超音波検査は、肌にやさしいゼリーを使用し、女性の臨床検査技師が検査をします。マンモグラフィは、「NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会」の認定を受けた、女性の診療放射線技師が検査をし、同じく認定を受けた医師が診断をしますので、安心して受診していただけます。

平成17年4月からは、撮影装置2機搭載のマンモグラフィ検診車が新たに加わり、すでに稼働しているマンモグラフィ検診車とともに、皆様のお役に立つことを願っております。

乳がんは早期発見であれば充分治癒が期待できますので、定期的に検診を受けましょう。

マンモグラフィの主な特徴

マンモグラフィ

- ①触ってもわかりにくい早期のがんに見られる微細な石灰化が検出できる。
- ②嚢胞は描出できないことがある。
- ③若年者の発達した乳腺では病変の描出ができないことがある。
- ④少量の放射線を使う。
- ⑤撮影の際、乳房を圧迫するので痛みを伴うことがある。
- ⑥乳腺の全体像が写し出されるので左右を比較して診ることができる。



けいりん号 (782) が よそおいも新たに完成

この胸部検診車は、従来のものに比べ、撮影カメラをコンパクトにし、待合室のスペースをより広く設け、ゆとりある脱衣空間を可能にした明るい内装仕上げとなっています。また、排気ガス規制に対応した環境にやさしいエンジン仕様です。よりきめ細かいサービスを心掛けています。どうぞよろしくお祈りします。

けいりん号は、昭和32年から現在までの47年間に785台製作され、「社会福祉事業等後援特別競輪」の益金をもとに、結核予防会が製作した結核（胸部）検診車です。完成伝達式には、総裁 秋篠宮妃殿下より鍵の授与が行われています。

複十字シール運動

結核予防会では「複十字シール運動」を行っています。この運動は世界中の結核を撲滅し、肺がんやその他の胸部疾患をなくすため、事業資金を集めることを目的として行われている世界共通の募金活動です。

後援：厚生労働省・文部科学省・全国結核予防婦人団体連絡協議会

募金の使途

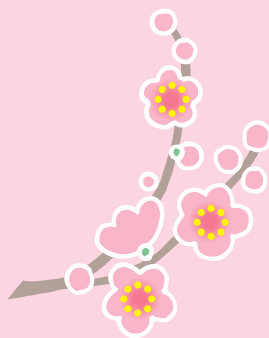
1. 結核予防の教育広報費
2. 胸部X線検診車および検診機器などの整備費
3. 結核予防事業助成金

複十字シールを通じて、皆様に善意のご協力をお願いしています。



よぼうかい OSAKA TOPICS

トピックス



大阪市 平成16年度(第48回) 結核対策推進優良市町村表彰受賞

(財)結核予防会主催(厚生労働省後援)の同表彰は、結核罹患率低減、治療成績の向上、BCG接種率の向上と技術評価、広報活動などを通じて結核対策推進に貢献した市町村を表彰することにより、結核根絶に向け一層の普及活動を図る目的で実施しており、本年度は大阪市他21市町村が受賞となりました。

平成16年9月28日(ホテルニューオータニ・東京)開催の表彰式では、総裁の秋篠宮妃殿下より、大阪市長 関 淳一氏に表彰状が授与されました。

結核罹患率が全国平均の約3倍という大阪市は、地域でのDOTS対策の推進、あいりん・野宿者対策の強化など結核対策事業の積極的な活動が評価されました。

お知らせ

当支部は、皆様からの健診に関することやその他疑問・質問を承っております。詳しくはホームページのお問合せ・Q&Aをご利用ください。

財団法人 結核予防会大阪府支部

大阪府支部 相談診療所 結核研究所	〒541-0045 大阪市中央区道修町4-6-5 TEL 06-6202-6666(代表) FAX 06-6202-6686 E-mail info@jata-osaka.or.jp URL http://www.jata-osaka.or.jp
大阪病院	〒572-0801 寝屋川市寝屋2276-1 TEL 072-821-4781(代表) FAX 072-824-2312 URL http://www.osaka-hospital.jp
堺高島屋内診療所	〒590-0028 堺市三国丘御幸通63 高島屋堺店内5階 TEL 072-221-5515(代表) FAX 072-223-8534 E-mail sakai@jata-osaka.or.jp